

根来山げんきの森俱楽部

令和7年3月作業日誌

活動日：令和7年3月16日(日) 9:30～15:00 天気：雨 倶楽部員：44人

今月はあいにくの雨模様で作業は早めに切り上げることとなりましたが、植樹にとってはもってこいのお天気だったようです。

悲しいお別れもありましたが、亡くなった仲間の想いはこれからもげんきの森に息づいていることでしょう。

植樹祭

雨の予報でみなさんカッパを準備して来ていただきましたが、植樹祭が始まる10時前には雨も上がり、午前中は降らなかったのでカッパがなくても作業できてやれやれでした。

この日は一般参加が3家族7名、俱楽部員20数名で、イイギリ10本、アカシデ50本、イロハモミジ20本、ヤマザクラ13本、ミズメ3本、ナツツバキ6本、ヤマボウシ3本の計85本をゲート手前の土仏線下の斜面2か所とバリアフリートレイン起点付近に分けて植えました。

植栽場所は丁寧に地拵えしてくれていたので作業しやすく、一般参加の小学生たちものびのびと木を植えてくれていました。

穴を掘ってみるとこの場所はけっこういい土で、植えられた樹木たちもきっとしっかり育ってくれるでしょう。それに、植樹が終わった午後はけっこうしっかりした雨が降ったので植樹には最高の日となりました。

来園者のみなさんにもよく目立つ場所なのでしっかり手入れして上手に育てましょう。

岡田 和久



炭焼き

参加者 15 名、内 🥰 女性 3 名

今日は終日 小雨の中、炭出し、炭材入れ、余力で薪割り・溝掃除を行いました。

先ずは雨を凌ぐ為に屋根代わりの青シート張りから始め炭出しは昼前には完了。取れ高は 230kg でした。

因みに今回出た炭は 2 月のバスツアーで工場見学をして来た「萩原珈琲さん」で使って頂きます。

午後は炭材入れを最優先に余力で雨に濡れながら薪割り・溝掃除を手分けして行い充実した一日になりました。

最後に三木さん、小原さんの相次ぐ訃報に接しあ二人の御冥福を心からお祈り申し上げます。 西 勝信



在りし日の小原さん

「小原さん」

もう、みなさんはご存知だと思いますが、俱楽部員の小原さんがお亡くなりになりました。

愛らしい風貌で飘々とし、あの人の口から人の悪口など聞いたことはありませんでした。幼稚園の子どもたちにも親しまれています。

広場の一画に板、角材、丸太、山から拾ってきたユニークな形の株などを雑然と並べて自分の作業スペースとして確保し、そこで椅子、テーブル、掛矢、木槌、木製手すりの補修材など公園で必要な木製品のほとんどを製作してくれていました。他にもアケビのツルで編んだかごや竹の輪、サクラで作ったふくろうのアクセサリーなどもつくってお土産として販売してくれていました。

小原さんの作業場、そこは何でも生み出してくれる小宇宙のようでした。

小原さんは木工職人でも何でもありません。高校まで鹿児島の田舎で育ち和歌山の住友金属に就職したいわばサラリーマンでした。でも田舎で過ごした子ども時代におそらく森の様々な素材を利用して暮らしに必要なものは何でも手作りながら育ってきたのでしょう。の人たちの年代は森を活用するすべを知識ではなく知恵として身につけながら育ってきているようです。

今の若い世代はもうそのような経験はできませんから、もうあんな人はげんきの森に現れることはないでしょう。私たちはせいぜいあの年代の人たちが身につけている知恵のほんのわずかでも再現しながらこの公園をより良いものとできるよう努力するしかありません。

いつかはいなくなる人ではありました、が、残念な人材がげんきの森から消えてしまいました。

岡田 和久